

# 八王子千人同心日光往還ウォーク第21回レポート

## 第21回上新郷交差点から茂林寺前駅

実施日 2023（令和5）年3月15日（水） 天候 快晴 無風 4月の陽気

参加者 折本 文雄、前北 勝司、中田 信義、中島 征雄 計4名

歩行距離：11.5km。 累計歩行距離 195.1km。

全体所要時間：4時間31分。移動時間：3時間08分。停止時間：1時間23分。

移動平均速度：3.7km/h。全体平均速度：2.56km/h。



9時過ぎに全員集合。9時24分発の羽生市福祉バスで祥雲寺前バス停に行く予定を、バスが来るまでまだ大分時間があったので、タクシーで上新郷交差点までいくことにした。

上新郷交差点に9時24分に着いた。交差点の傍の南陽醸造の売店前に大勢が行列していた。日本酒「花陽浴（はなあび）」を買い求める人々か。9時26分新郷宿を歩き始める。宿は昔の面影は無く、脇本陣も「この辺り」と推測。その先の左手奥に門が見え、塀で囲まれた一角が新郷宿の本陣須永家である。（9：35～39）庭の一隅に「従是西忍領」の石柱がある。新郷宿は片継場で千人同心は日光警護の帰りに宿泊した。

先に進むと鍵の手（宿の入口）になった十字路があり、その東北角に「愛宕神社」がある。（9：44～47）社殿は「愛宕神社古墳」と呼ばれる円墳の上に建っている。この先からかつて「勘兵衛松並木」と呼ばれた松並木があり、現在は新たに植樹された松並木となっている。埼玉用水路を越えた先に明治時代の俳人川島奇北に句碑と「賽神社跡」の説明板と「庚申塔・如意輪観音・地藏尊」の3体が祀られた祠がある。

10：01、その先、県道は利根川の土手にぶつかり右カーブして昭和橋に繋がるのだが、道路工事

のため通行出来ず、戻って迂回して並走している国道122号線に出て昭和橋南詰に出る。遠望すると、かつて県道がカーブして利根川堤防上にあった「史跡 川俣関所跡」の石碑と説明板が道路工事のためか無くなっていた。

昭和橋南詰交差点の東南角の「道の駅はにゅう」があるので寄り、休憩する。(10:14~34) 道の駅に東北隅に「川俣締切跡」石碑・説明板と「八切神社」の石碑がある。ただ、羽生の作詞家 関口義明先生の顕彰碑(『あゝ上野駅』を作詞)は破棄したのか見つからなかった。

利根川に架かる昭和橋を10:35渡り始め、途中10:42群馬県(明和町)に入り、10:46、10分以上掛けて渡る。

堤防を下った所に「川俣宿旧本陣塩谷家」があり(10:51)、本陣建物はないが、白塀と屋敷門が往時をうかがわせる。「川俣事件」に関連する「真如院」に寄り(10:54)、「粟島神社」(10:57~11:00)に寄って宿内を進むと小さな公園があり、「川俣宿」と書かれた常夜灯、「富士見の渡しと日光脇往還 川俣宿の歴史」「川俣事件記念碑」があり、北の小川の傍に「川俣事件衝突の地」の石柱と解説石板がある。

街道を先に進め、国道122号線と県道368号線間の旧街道に入り進むと、川俣駅に通じる県道と交差する。この辺りには鎌倉時代に佐貫氏の館があったという。交差点の左側に「東光寺」と「長良神社」がある。(11:24~28)

旧街道の右手に「阿弥陀三尊板碑」との標柱があった。民家の裏手にあると聞いていたので、たまたま居られた家人の了解を得て拝見することが出来た。(11:32~36) その先に「石仏群」(11:38)、「地藏堂」がある。直ぐ先には「長良神社」とその境内に「根本山神社」がある。(11:39~41)

長良神社の先に、富士講で行き倒れになった老人の供養のために建てられた「富士山供養塔」がある。(11:44) 旧街道は国道122号線に合流。渡った所にある「山田うどん」で昼食をとる。(11:49~12:23)

昼食後、先に進み、明和町と館林市の境の谷田川を渡り、今の橋より下流にあった過去(旧街道)の橋の跡を見に行く。ビニールハウス端の小道に入り、河岸に出、直ぐ上流の橋脚跡を確認する。(12:33)

ビニールハウス端に戻り、消滅した橋から続いている道を進み、国道122号線を横切る。直進し、右折した先に「龍積寺」がある。(12:45~51) 当寺は鎌倉公方方の赤井氏によって築かれた青柳城の場所と言われている。山門の傍らに鎮座している地藏尊はいつの頃からか「麻疹地藏」と呼ばれているが、元は「首切り地藏」と呼ばれ、谷田川河畔に館林藩の刑場があり、そこにこの地藏様があった。

県道7号線に合流して、茂林寺交差点を右折し、1km先の茂林寺を目指す。東武伊勢崎線踏切を渡り(13:16)、100m程先の変速四つ辻を左折。最初の小道を右折すると馬頭観音石像、今日2社目の根本山神社がある。バス通りに出て進むと馬頭観音堂の先に茂林寺の参道入口がある。(13:26) 今日は参道の土産屋は休み。参道は左折、黒門(総門)と赤門(山門)間の参道両側に数多くの狸像が立ち並び、その先に壮大な本堂が建っている。本堂の一室に「分福茶釜」が安置されているとのこと。本堂の隣に分福茶釜を当寺に持ち込んだと言われる守鶴を祀った「守鶴堂」がある。

参拝後(13:36)、茂林寺北側に広がる群馬県天然記念物・日本遺産に認定された館林「里沼」の一つ「茂林寺沼と低地湿原」の一部を通して茂林寺前駅に向かう。13時57分、茂林寺前駅に着き、14時00分の久喜行きに乗る。

今日は旧街道ならではの数多くの社寺や史跡を訪ねるウォークであった。



新郷宿本陣須永家門



從是西忍領石標



愛宕神社（古墳）



川俣締切址碑



川俣事件祈念碑



龍積寺のコブシ



茂林寺本堂



低地湿原